

proportionately large communicating IV th ventricle. 第28回日本脳神経外科学会中部地方会, 1989, 12, 名古屋.

- 47) 田中 信, 神林智作, 大森友明, 西嶋美知春, 岡 伸夫, 高久 晃: 大脳半球深部に発育した奇形手の1例. 第28回日本脳神経外科学会中部地方会, 1989, 12, 名古屋.
- 48) 田淵英一, 小黒武年, 久世照五, 遠藤俊郎, 小暮久也: サル脳虚血による海馬CAIの選択的神経細胞壊死. 第36回生理学中部談話会, 1989, 名古屋.

整 形 外 科 学

教 授	辻	陽	雄
助教授(前)	伊	藤	達
助 教 授	加	藤	義
講 師	高	野	治
講 師	松	井	寿
講師(前)	吉	田	孝
助 手	平	野	典
助 手	丸	田	喜
助 手	大	島	博
助 手	米	澤	孝
助 手	金	森	昌
助 手	松	野	博
助手(前)	高	野	隆
助手(前)	前	田	明

◆ 著 書

- 辻 陽雄: 脊柱・脊髓。「現代の整形外科学(改訂第2版)」神田喜三郎他編, 377-451. 金原出版, 東京, 1989.
- 辻 陽雄: 腰椎椎間板ヘルニア。「今日の治療指針」日野原重明他監, 582-583, 医学書院, 東京, 1989.
- 辻 陽雄: 椎間板変性疾患。「リウマチ学」塩川優一監, 955-965, 同文書院, 東京, 1989.
- 辻 陽雄: 病理所見(マクロ・ミクロ像)。「図説整形外科診断治療講座-1腰痛」桜井実編, x-xi, メジカルビュー社, 東京, 1989.
- Tateishi A., Miki H., Takeyama S., Ishii S., Yamawaki S., Yagi T., Kakizawa H., Chigira M., Takada N., Endo F., Kawano H., Osaka S., Hamada Y., Takeuchi R., Tomita K., Matsui H., Shinjo K., Disaku H., and Inoue O.: The effects preoperative cis-platinum (CDDP) for the purpose

of limb salvage of osteosarcoma evaluated by multifactor evaluation method-Japanese intergroup study of osteosarcoma. New development for limb salvage in musculoskeletal tumors. T. Yamamuro (ED.) 189-192, Sprisger-Verlag, Tokyo, 1989.

- 伊藤達雄, 米澤孝信: 頸部および項部痛。「リウマチ学」塩川優一他監修, 392-404, 同文書院, 東京, 1989.

◆ 原 著

- Matsui H., Tatzaki S., Tsuji H., and Ochiai H.: Isolation and characterization of low-and high-metastatic clones from murine RCT (Radiological, Chiba, and Toyama) sarcoma. Cancer Res. and Clin. Oncology. 115: 9-16, 1989.
- Kitagawa H., Itoh T., Takano H., Takakuwa K., Yamamoto N., Yamada H., and Tsuji H.: Motor evoked potential monitoring during upper cervical spine surgery. Spine. 14: 1078-1083, 1989.
- Takakuwa K., Tsuji H., Takano H., and Kitagawa H.: Effects of epidural electrical stimulation modalities on spinal cord function and morphology in cats. J. of Spinal Disorders. 2: 155-162, 1989.
- Kitano S., Tsuji H., Hirano N., Sano A., and Terahata N.: Water, fixed charge density, protein contents, and lysine incorporation into protein in chymopapain-digested intervertebral disc of rabbit. Spine 14: 1226-1233, 1989.
- Ohshima H., Tsuji H., Hirano N., Ishihara H., Katoh Y., and Yamada H.: Water diffusion pathway, swelling pressure, and biomechanical properties of the intervertebral disc during compression load. Spine 14: 1234-1244, 1989.
- 松井寿夫, 館崎慎一郎: マウス未分化肉腫(RCT sarcoma)から分離された高肺転移株と低肺転移株の細胞学的特性. 日整会誌 63: 1513-1519, 1989.
- 八島省吾, 伊藤達雄, 吉田孝太郎, 前田明夫, 桜井新樹, 辻 陽雄: 若年性二次性変形股関節症に対する shelf operation の経験. 中部整災誌 32: 883-885, 1989.
- 吉田孝太郎, 伊藤達雄, 大島 博, 牧山尚也, 川口善治: Cementless THR の臼蓋部に移植した骨の運命. 中部整災誌 32: 2196-2197, 1989.
- 伊藤達雄, 加藤義治, 米澤孝信, 丸田喜美子, 小坂泰啓: 後方固定を加味した en-bloc laminoplasty の臨床的検討. 中部整形災誌 32:

- 2457-2459, 1989.
- 10) 高野治雄, 高桑一彦, 北川秀機, 辻 陽雄, 上山武史: 大動脈瘤手術中脊髄機能モニタリングの問題点. 脊椎電気診断学 11: 99-102, 1988.
 - 11) 北川秀機, 高野治雄, 高桑一彦, 山本直也, 伊藤達雄, 辻 陽雄: 上位頸椎手術時の motor evoked potential モニタリング. 脊椎脊髄ジャーナル 2: 457-463, 1989.
 - 12) 松野博明, 辻 陽雄, 伊藤達雄, 松井寿夫, 遊道和雄: マウスコラーゲン関節炎発症における T リンパ球の役割. 医学のあゆみ 151: 133-134, 1989.
 - 13) 辻 陽雄, 平野典和, 伊藤達雄, 山田 均, 加藤義治, 大島 博: セラミック棘間ブロック併用腰椎固定術. 整形外科 40: 1149-1159, 1989.
 - 14) 吉田孝太郎, 山田 均, 西島宗孝, 大島 博, 森田裕司, 辻 陽雄: 化膿性膝関節炎の観血的療法と後療法について. 整形外科 40: 604-611, 1989.
 - 15) 浦山茂樹, 伊藤俊一, 松下 功, 金森昌彦, 山上 亨, 石原裕和, 関戸弘通, 米澤孝信: パラグライダー外傷について. 臨床スポーツ医学 6 別冊: 44-47, 1989.
 - 16) 加藤義治, 辻 陽雄, 関戸弘通, 米澤孝信: 高齢者変性腰部脊柱管狭窄症に対する除圧椎弓切除術の成績. 整形外科 40: 1491-1497, 1989.
 - 17) 丸田喜美子, 辻 陽雄, 佐野明美: 「ヒト黄色靭帯および椎間板線維輪石灰化抑制因子の in vitro における石灰化抑制能」・厚生省特定疾患脊柱靭帯骨化症調査研究班昭和63年度研究報告書: 42-43, 1989.
- ◆ 症例報告
- 1) 木田康弘, 加藤義治, 吉田孝太郎, 長浜 繁, 伊藤俊一, 山田 均, 小泉富美朝: 白蓋骨壊死像を伴った RA 股関節病変の一例. 整形外科 40: 1823-1826, 1989.
 - 2) 高野 隆, 高野治雄, 加藤義治, 山下真一郎, 辻 陽雄: Achondroplastic spinal stenosis の 4 症例. 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 32: 1416-1418, 1989.
 - 3) 松野博明, 高橋淳一, 小林紘一, 中村哲雄, 林謙一, 小林 彰, 渡部恒夫, 後藤澄雄, 土田豊美: 頸椎黄色靭帯石灰化症の一例—発症メカニズムに関する 1 考察—. 整形外科 40: 1670-1674, 1989.
 - 4) 松井寿夫, 辻 陽雄, 加藤義治, 北川正信: 低燐血症性ビタミン D 抵抗性クル病に胸椎部黄色靭帯骨化症を合併し脊髄症を呈した一例 40: 921-924, 1989.
 - 5) 久保睦夫, 松井寿夫: 大腿神経麻痺を呈した巨大腸筋膿瘍の一例. 整形外科 40: 1831-1834, 1989.
 - 6) 寺畑信男, 館崎慎一郎, 森田多哉, 吉田孝太郎: 下肢痛を初発症状とした前立腺癌のびまん性髄膜癌腫症の一例 40: 107-112, 1989.
 - 7) 今田光一, 吉田孝太郎, 松井寿夫: 第 II~V 手根中手関節背側脱臼の一例. 整形外科 32: 1109-1112, 1989.
- ◆ 総 説
- 1) 辻 陽雄, 平野典和, 背痛・腰痛の鑑別診断と治療. 内科 64: 263-271, 1989.
 - 2) 辻 陽雄, 伊藤達雄, 山田 均, 加藤義治: 整形外科領域における疼痛とその処置: 腰痛—病態と腰痛の発生・認識機構. 整形外科 MOOK 57: 124-131, 1989.
 - 3) 加藤義治: 特集/骨関節疾患—変形性関節症. 現代医療 21: 1557-1560, 1989.
 - 4) 加藤義治, 伊藤達雄: 特集/腰痛・坐骨神経痛の診療—腰椎分離症・すべり症の保存治療とその限界. Monthly Book Orthopaedics 15: 51-57, 1989.
- ◆ 学会報告
- 1) 丸田喜美子, 辻 陽雄, 佐野明美: ヒト黄色靭帯および椎間板線維輪石灰化抑制因子の in vitro における石灰化抑制能. 脊柱靭帯骨化症調査研究班 昭和63年度第 2 回班総会, 1989, 2, 東京.
 - 2) 関戸弘通, 浅妻茂明, 吉田孝太郎: CM 関節脱臼を伴った大菱形骨単独骨折の一例. 第110回北陸整形外科集談会, 1989, 3, 金沢.
 - 3) 松野博明, 伊藤達雄, 松井寿夫, 遊道和男: コラーゲン関節炎におけるリンパ球サブセットの検討, 第110回北陸整形外科集談会, 1989, 3, 金沢.
 - 4) 遊道和男, 吉田孝太郎, 松野博明, 牧山尚也: VETER association の一例, 第110回北陸整形外科集談会, 1989, 3, 金沢.
 - 5) 辻 陽雄, 平野典和, 伊藤義治, 山上 亨, 大島 博: セラミック棘間ブロック併用腰椎固定術の意義と価値. 第62回日本整形外科学会学術集会, 1989, 4, 浦安市.
 - 6) 辻 陽雄: 高令者腰痛・下肢痛—治療・管理の私見. 第62回日本整形外科学会学術集会, シンポジウム. 1989, 4, 浦安市.
 - 7) 伊藤達雄, 米澤孝信, 丸田喜美子, 加藤義治,

- 金森昌彦, 石原裕和: 慢性関節リウマチの頸椎・頸髄障害に対する除圧・固定範囲に関する考察. 第62回日本整形外科学会学術集会, 1989, 4, 浦安市.
- 8) 伊藤達雄, 加藤義治, 米澤孝信, 丸田喜美子, 小坂泰啓: 後方固定を加味した en-bloc laminoplasty の臨床的検討. 第72回中部日本整形外科学会災害外科学会, 1989, 5, 大阪.
- 9) 吉田孝太郎, 伊藤達雄, 牧山尚也, 大島 博, 川口善治: Cementless THR の白蓋部に移植した骨の運命について. 第72回中部日本整形外科学会, 1989, 5, 大阪市.
- 10) 吉岡 勉, 辻 陽雄: 正常腰椎の運動特性. 第18回日本脊椎外科研究会, 1989, 5, 大阪.
- 11) 鈴木正人, 松井寿夫, 前田明夫, 大島 博, 山本恵一: 肺尖部から肩部に発生した砂時計状脂肪腫の一例. 第111回北陸整形外科集談会, 1989, 6, 福井.
- 12) 寺畑信男, 松井寿夫, 辻 陽雄: 一卵性双生児において同一高位に同一形態で発生した腰椎椎間板ヘルニア. 第111回北陸整形外科集談会, 1989, 6, 福井.
- 13) Kitagawa H., Takano H., Takakuwa K., Yamamoto N., Tsuji H.: Intraspinal topographic field potential analysis of transcranial motor evoked potential in cat. 4th International Symposium on Spinal Cord Monitoring and Electrodiagnosis, 1989, 8, Niigata.
- 12) Tamaki T., Matsuura S., Ando M., Nakamoto K., Takano H., Murakami M.: Composition of strategies to monitor spinal cord function using measures of electrical continuity. 4th International Symposium on Spinal Cord Monitoring and Electrodiagnosis, 1989, 8, Niigata.
- 15) Takano H., Takakuwa K., Kitagawa H., Yamamoto N., Tsuji H.: Spinal cord monitoring in aortic aneurysm surgery. 4th International Symposium on Spinal Cord Monitoring and Electrodiagnosis, 1989, 8, Niigata.
- 16) 満野博明, 辻 陽雄, 松井寿夫: マウス関節炎モデルにおけるリンパ球サブセットの変化. 第18回関東整形災害外科学会, 1989, 6, 東京.
- 17) Ohshima H., Tsuji H., Hirano N., Ishihara N., Terahata N., Sano A.: Physiologic response of the intervertebral disc against compression load. The 16th annual meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine. 1989, 5, Kyoto.
- 18) 市村和徳, 辻 陽雄, 松井寿雄, 牧山尚也, 山上 亨: ラット椎間板由来培養細胞のプロテオグリカン合成能に対する過酸化水素の影響. 第4回日本整形外科学会基礎学術集会, 1989, 8, 東京.
- 19) 石原裕和, 辻 陽雄, 平野典和, 大島 博, 寺畑信男: 連続定量振動の椎間板生理挙動ならびに代謝に及ぼす影響. 第4回日本整形外科学会基礎学術集会, 1989, 8, 東京.
- 20) 松野博明, 辻 陽雄, 伊藤達雄, 松井寿夫, 石井 勉: マウスコラーゲン関節炎発症におけるリンパ球の動態. 第4回日本整形外科学会基礎学術集会, 1989, 8, 東京.
- 21) 大島 博, 平野典和, 石原裕和, 寺畑信男, 松下 功, 辻 陽雄: 圧縮荷重に対する椎間板の生体力学的特性. 第16回整形外科バイオメカニクス研究会, 1989, 9, 東京.
- 22) 浦山茂樹, 伊藤俊一, 松下 功, 金森昌彦, 山上 亨, 小淵武志: 膝を中心とした下肢の反射性交感神経性ジストロフィー. 第15回日本骨折研究会, 1989, 7, 岡山.
- 23) 加藤義治, 今田光一, 辻 陽雄: 脊柱靱帯骨化症の全身因子の検討. 第73回中部日本整形外科学会災害外科学会, 1989, 10, 香川.
- 24) 伊藤達雄, 杉木繁隆, 北野 悟, 辻 陽雄, 松井寿夫: 環軸関節不安定症に対する trans articular screw を用いた後方固定の経験. 第73回中部日本整形外科学会災害外科学会, 1989, 10, 香川.
- 25) Kitagawa H., Takano H., Takakuwa K., Yamamoto N., Kida Y., and Tsuji H.: Intraspinal topographic field analysis of transcranial motor evoked potential in the cat. International Motor Evoked Potential Symposium, 1989, 9, Chicago.
- 26) 牧山尚也, 松井寿夫: RCT 肉腫高肺転移株および低肺転移株における侵潤能に関する検討 (第1報). 第48回日本癌学会総会, 1989, 10, 名古屋.
- 27) 山本直也, 高野治雄, 北川秀機, 高桑一彦, 辻 陽雄: ネコ胸腰髄部虚血による脊髄障害と各種誘発脊髄電位変化について. 第19回日本脳波・筋電図学会学術大会, 1989, 11, 岡山.
- 28) 田中 稔, 松井寿夫, 牧山尚也, 高桑一彦, 関隆夫: 非定型好酸菌による腓骨小頭骨髄炎. 第113回北陸整形外科集談会, 1989, 12, 富山.
- 29) 藤江秀樹, 松井寿夫, 寺畑信男, 上田 剛: 硬膜外腫瘤を形成した骨髄腫 (IgD- λ) の一例. 第113回北陸整形外科集談会, 1989, 12, 富山.
- 30) 岡田知佐子, 加藤義治, 松野博明, 清水美恵

- 子, 石原裕和:10年後に再発した多発性馬尾腫瘍の一例, 第113回北陸整形外科集談会, 1989, 12, 富山.
- 31) 浅野 裕, 加藤義治, 平野典和, 今田光一:偽性甲状腺機能低下および多発性脊柱靭帯骨化を伴う強直性脊椎炎の一例. 第113回北陸整形外科集談会, 1989, 12, 富山.
- 32) 加藤義治, 今田光一, 辻 陽雄:脊柱靭帯骨化症の全身因子の検討. 第72回中部日本整形外科災害外科学会, 1989, 10, 香川.
- 33) 米澤孝信, 伊藤達雄:MRI,Gd-DTPAにて enhance された圧迫性頸髄症の一例. 第22回脊椎同好会, 1989, 8, 神戸.
- 34) 辻 陽雄, 山本直也:OPLLによる重度麻痺の一部陰—その脊髄病理. 脊椎靭帯骨化症脊髄障害検討会, 1989, 10, 14. 名古屋大学医学部鶴友会講堂.
- 35) 加藤義治, 今田光一, 辻 陽雄:壮年期広範囲脊柱靭帯骨化症におけるCa代謝の一特異性. 第11回北陸骨Ca代謝談話会. 1989., 12, 金沢.
- 36) 松野博明, 辻 陽雄, 米澤孝信, 鈴木正人, 松下 功:マウスCIA発症におけるサプレッサーT細胞の関与, 第18回北陸リウマチ・関節研究会, 1989, 7, 金沢.
- ◆ その他
- 1) 辻 陽雄:「腰痛症とその治療」・学術講演会. 1989, 3, 11. 福山整形外科医会
- 2) 辻 陽雄:「腰痛症候群, 成り立ちとアプローチ」・青森県「痛みと炎症」講演会. 1989, 5, 13. 青森グランドホテル.
- 3) 辻 陽雄:「高齢期の腰・背痛」・第19回富山県医師会生涯教育研修会, 1989, 5, 11. 富山市医師会館.
- 4) 辻 陽雄:「高齢期医療への心の対応」・糸魚川病院教育講演. 1989, 7, 8. 糸魚川病院会議室
- 5) 辻 陽雄:「頸椎リウマチ病変の診断と治療」・第1回骨関節疾患研究会. 1989, 7, 15. 野口英世記念会館(東京)
- 6) 辻 陽雄:(1)「痛みの知識」(2)「死への準備と生活—医師の立場から」・県民カレッジ講座. 1989, 7, 3, 11, 6. 高岡文化ホール, 富山文化ホール. 県民カレッジ講座. 1989, 7, 15, 11, 13. 高岡文化ホール, 富山文化ホール.
- 7) 辻 陽雄:「腰痛症の病態と治療」・旭川整形外科医会講演. 1989, 7, 20.
- 8) 辻 陽雄:「慢性疼痛の管理について」・第1回徳大脊椎外科カンファレンス. 1989, 8, 13. グランドパレス徳島.
- 9) 辻 陽雄:「腰痛診療に忘れてはならぬこと」・第6回富山医科薬科大学整形外科立山セミナー. 1989, 8, 6. 富山厚生年金休暇センター
- 10) 辻 陽雄:「痛みの発生・認知と管理のあり方」・千葉県整形外科医会学術講演会. 1989, 9, 11. ホテルガーデン千葉.
- 11) 辻 陽雄:「疼痛—その理論と管理」・京都整形外科医会学術集会. 1989, 8, 26. 京都グランドホテル.
- 12) 辻 陽雄:「慢性疼痛の成り立ちと対応の仕方」・足立区医師会学術講演会. 1989, 10, 18. 足立区医師会館.
- 13) 辻 陽雄:「腰痛・下肢痛, 成り立ちと基本方略」・信州整形外科教育研修講演会. 1989, 10, 28. 信州大学第3講義室.
- 14) 加藤義治:「骨粗鬆症について」第1回骨粗鬆症勉強会. 1989, 3, 22. 黒部市民病院.
- 15) 加藤義治:「骨粗鬆症の診断とその問題点」・第19回富山市医師会生涯教育研修会. 1989, 5, 11. 富山市医師会.
- 16) 加藤義治:「スポーツ障害の注意点について」・平成元年度全国大学保健管理協会東海・北陸地方部会研究集会. 1989, 8, 2. 高志会館.
- 17) 加藤義治:「高齢者の腰痛疾患について」・第5回老年懇話会. 1989, 10, 羽咋.
- 18) 大島 博:「足・腰の痛みを予防」・細入村健康教育事業講演会. 1989, 12. 富山.
- 19) 伊藤達雄:「慢性関節リウマチの治療」・学術講演会. 1989, 2, 17, ホテルサンルート魚津.